



上越市歴史的建造物等整備支援事業 ～これまでの助成事業の状況（R1～R5） 1/5

事業年度	事業名	所在地	補助対象者	補助金交付額	歴史的建造物等の概要／事業概要／活用状況	
R1	飯田邸カヤ葺き屋根改修事業	大島区菖蒲	飯田邸保存会	7,500 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt;                      飯田邸は明治元年以前に建てられた庄屋屋敷で、檜を使用した大きな柱、梁などを有し、規模が大きく、大島区を代表する中門づくりのかやぶきの古民家であり、平成 22 年 6 月に地元有志が中心となり正式に保存会を設立し、所有者承諾のもと、整備活用に取り組んでいる。</p> <p>&lt;事業概要&gt;                      傷みが著しい茅葺屋根の一部の改修を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt;                      大島区菖蒲地区のシンボルとして飯田邸を維持管理するとともに、一般公開に併せての農村レストラン&amp;カフェ営業、各種イベントや高齢者のたまり場開設、海外旅行団体の受け入れなどで有効活用を図り、地域の一層の活性化を図っている。</p>	 <p>▲飯田邸（旧飯田家住宅主屋）の外観                      ・登録有形文化財（登録：平成 26 年）</p>
R1 ～R2	鴨井家住宅主屋茅葺屋根改修事業 (2 か年事業)	板倉区田屋	個人	1,723 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt;                      当地の庄屋を務めた大型農家。桁行一〇間、梁間四間の寄棟造、茅葺。主体部の前面に玄関、背面に二階建の中門がそれぞれ突出する形式とする。平面は広間型三間取で、オクザシキは座敷飾りを備える。大きな茅葺屋根が地域のランドマークとなっている。</p> <p>&lt;事業概要&gt;                      鴨井家住宅主屋の茅葺屋根のうち、北面及び西面北側の一部を差し茅工法で改修を行い、今日、希少となった茅葺屋根の劣化を予防して、農村集落の景観向上を図った。</p> <p>&lt;活用状況&gt;                      板倉区田屋の象徴である鴨井家住宅の維持管理を続け、区内小学校の総合学習において公開するなど、地域の貴重な文化財として伝承している。</p>	 <p>▲鴨井家住宅主屋の東面外観                      ・登録有形文化財（登録：平成 29 年）</p>

上越市歴史的建造物等整備支援事業 ～これまでの助成事業の状況（R1～R5） 2/5

事業年度	事業名	所在地	補助対象者	補助金交付額	歴史的建造物等の概要／事業概要／活用状況
R2	善徳寺経堂修繕事業	吉川区国田	歴史と文化のまちづくり研究会	7,500 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt; 土蔵造の経蔵に木軸の覆堂を架け、置屋根状に宝形造瓦葺の屋根を載せる。覆堂は下部を簷子下見板張、上部を開放として飛貫位置に虹梁を組み、南正面に唐破風造の向拝を付す。向拝廻りの鳳凰や龍の彫刻は池山甚太郎の手になり、精緻で躍動感のある優作である。</p> <p>&lt;事業概要&gt; 平成 19 年の中越沖地震による損傷やその他老朽部分の修復を目的として、基礎部の横ズレ、レベル沈下、軸の傾き、木部の劣化、土壁や漆喰の損傷・亀裂、彫刻など細部の補強のほか、ダンパーによる耐震工事を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt; 吉川区唯一の登録有形文化財である善徳寺経堂を拠点とした展示や講座などを通じて地域の歴史文化の伝承を行っている。</p>
R3	「麻屋高野」瞽女資料館整備事業	東本町一丁目（高田区）	NPO 法人高田瞽女の文化を保存・発信する会	4,265 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt; 通りに南面し、木造 2 階建、建築面積 118 平方メートル、切妻造鉄板葺である。1 階はミセ、チャノマ、ザシキ、ドインを並べ、2 階はチャノマ吹抜けの前後にマエニカイとウシロニカイを配し渡廊下でつなぐ。近代高田の町家において発展した空間構成を有する。</p> <p>&lt;事業概要&gt; 国登録有形文化財 麻屋高野店舗兼主屋を活用した資料館「瞽女ミュージアム高田」について、近年、点数が充実してきた各種資料や今後新たに寄せられる資料を良好な状態で収蔵し十分な活用につなげるため、建物のウシロニカイを改修し調査・整理のためのスペースを確保するほか、ザシキ仏間の展示スペースへの改装やマエニカイ窓の修繕を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt; 高田瞽女の文化を紹介するミュージアムとして一般公開されている。あわせて有形登録文化財に指定されている昭和 12 年築の典型的スタイルの高田の町家である建物を公開している。</p>



▲善徳寺経堂の外観  
・登録有形文化財（登録：平成 27 年）



▲「瞽女ミュージアム高田」  
1 階 仏間を改装した展示スペース  
・登録有形文化財（登録：平成 24 年）

上越市歴史的建造物等整備支援事業 ～これまでの助成事業の状況（R1～R5） 3/5

事業年度	事業名	所在地	補助対象者	補助金交付額	歴史的建造物等の概要／事業概要／活用状況
R4	旧頸城鉄道に関する鉄道車両遺産活用整備事業	頸城区百間町	頸城自動車株式会社	5,118 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt;                      旧頸城鉄道の路線のほぼ中間地点にある機関庫。切妻造棧瓦葺、東西全長約四〇メートル、西端は休憩室と物置。南面に横長窓を連ね、高窓も設けて採光する。東面車両出入口は元は扉を吊り、アーチ形の枠が残る。小屋組キングポスト・トラス。軽便鉄道の歴史を地域に留める。</p> <p>&lt;事業概要&gt;                      機関庫建造当時の合掌造りトラス組を現すため天井パネルを撤去し、雨漏りが発生している屋根の修繕を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt;                      保管車両を活用した体験乗車などのイベントとの相乗効果を高め、市民活動団体くびきのお宝のこす会との協働による地域活性化を図っている。</p>
R4	楞巖寺山門茅葺屋根葺き替え工事	柿崎区芋島	宗教法人楞巖寺	6,930 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt;                      楞巖寺は、戦国武将上杉謙信公の家臣柿崎景家公の菩提寺として知られる。山門は本堂の南方に南面して建つ、切妻造茅葺の四脚門。本柱と袖柱を地覆と腰長押、頭貫で固め、柱上に大斗を置き、虹梁を架け、中央に墓股を載せ、棟木を支持。冠木上中央に間斗束を置く。軒は二軒繁垂木。床は四半石敷で、両開戸をたてる。雄渾な雰囲気をもつ。</p> <p>&lt;事業概要&gt;                      経年により老朽化した茅葺の葺き替え改修を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt;                      毎年開催される「柿崎時代まつり」の会場として使われているほか、令和4年は柿崎景家公の445回忌に合わせた顕彰行事が執り行われるなど、地域住民に親しまれている。</p>



▲旧頸城鉄道機関庫（くびき野レールパーク車両展示資料館）  
 ・登録有形文化財（登録：令和5年）



▲楞巖寺山門の外観  
 ・登録有形文化財（登録：平成23年）

上越市歴史的建造物等整備支援事業 ～これまでの助成事業の状況 (R1～R5) 4/5

事業年度	事業名	所在地	補助対象者	補助金交付額	歴史的建造物等の概要／事業概要／活用状況
R5	浄福寺本堂整備事業	柿崎区柿崎	宗教法人浄福寺	2,590 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt;                      明治の大火後の昭和2年(1927)に建立された。RC造で、歌舞伎座をモデルにしている。RC造でありながら、入母屋の和風で、和風の洗練された雰囲気とコンクリートによる重厚感を兼ね備えた独特な外観と優美な内観となっている。現存する市内のRC建築の中では、最も古いとされている。</p> <p>&lt;事業概要&gt;                      経年劣化に伴い外部サッシの腐食が進んでいることから、現在の景観を損なうことなく、断熱性、気密性を高めるためのサッシ入替え工事を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt;                      本堂は普段から地域住民に開放されており、サークル活動や講演、チャリティーコンサートが行われるほか、地元小学校の地域学習や公民館活動などの見学も受け入れており、地域にとって大切な場所となっている。</p>
R5 ～R6	林富永邸整備事業	三和区神田	個人	7,404 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt;                      明治16年(1883年)の火災後の建築とされ、主屋は、木造平屋建で茅葺き、母屋から中門と呼ばれる部分(玄関)が突き出す中門造の建物です。各部屋の天井は高く、柱や梁にケヤキなどが用いられている。囲炉裏やかまど、豪雪対策の窓の木の格子などに当時の生活をしのぶことができる。地元では屋号から「林富永邸」と呼ばれて親しまれている。</p> <p>&lt;事業概要&gt;                      経年により老朽化した茅葺きの葺き替え改修や屋根板金工事、杉下見板塗装工事を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt;                      令和2年(2020)には、「CAFE HAYASHI(カフェ ハヤシ)」をオープンしテレビでもその様子が放映されるなど、話題となっている。</p> <p>歴史的旧家4邸(白田邸、瀧本邸、林富永邸、保阪邸)が連携し、年2回、春と秋に一般公開を行っており、市内外からの来場者の見学を受け入れている。</p>



▲浄福寺本堂  
 ・登録有形文化財(登録:令和3年)



▲林富永邸(富永家住宅 主屋)の南面外観  
 ・市指定文化財(登録:平成14年)

事業年度	事業名	所在地	補助対象者	補助金交付額	歴史的建造物等の概要／事業概要／活用状況
R5	旧酢屋呉服店 能登半島地震による災害復旧工事	中央3丁目 (直江津区)	個人	2,361 千円	<p>&lt;歴史的建造物等の概要&gt; 直江津の中町通に西面する呉服店の店舗兼住宅。土蔵が通りから後退するため、店舗正側面の入母屋造、軒の出桁造、霧除庇の豪壮な外観を見せる。正面雁木、内蔵が面する茶の間吹抜は雪国らしい構成。二階二〇畳座敷は客を招いて祇園祭を高欄越しに観覧した。</p> <p>&lt;事業概要&gt; 令和6年能登半島地震により内蔵（国登録有形文化財 旧酢屋呉服店土蔵）が全壊した。主屋は倒壊を免れたが、大きな被害を受けた。本復旧を実施する前に、屋根や壁部分の応急養生を行った。</p> <p>&lt;活用状況&gt; 祇園祭やまちづくりのイベントには地元や近隣の人たちにも店舗部分を開放して地域に貢献してきた。ライオン像のある館や水族館、船見公園などとともに直江津の核となる施設として地域の活性化のために役立つことが期待できる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 65%;">  <p>▲旧酢屋呉服店店舗兼主屋（被災前） ・登録有形文化財（登録：令和4年）</p>  <p>▲応急養生（屋根）</p>  <p>▲応急養生（ジムショ外側）</p> </div> </div>